

2014国際教養科 NEWS 10月(2)

第2回獨協大学英語プレゼンテーションコンテスト

本選出場&教育奨励賞受賞 10/5(日)

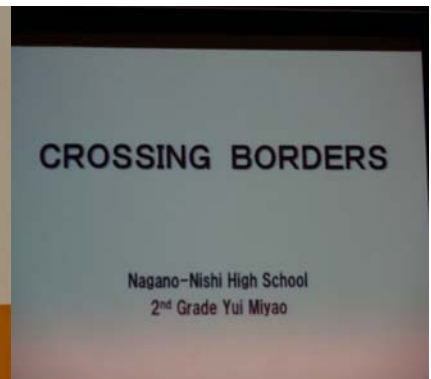


10月5日(日)に獨協大学で、高校生英語プレゼンテーションコンテストの本選が行われました。応募総数193名の激戦を勝ち抜いた10名の高校生が熱いプレゼンテーションを展開しました。その10名の中に、2年7組宮尾優惟さんが入り、Crossing Bordersをテーマに、パワーポイントスライドを使って、約8分間のプレゼンテーションとその内容に関して、英語による質疑応答がありました。

【プレゼンテーション紹介】

* Crossing Borders *

今日、私達は世界中の様々な食べ物を食べることができます。しかし、世界では約8億4,200万人、8人に1人が栄養失調に苦しんでいます。この飢餓は世界の食糧不足によるものではありません。貧富の差、開発途上国の農業、先進国の食事に主な理由があると私は考えます。国連は、世界中の飢餓撲滅を目指し、FAOとWFPという2つの機関を立ち上げ、日々活動に努めています。日本は年間5,500万トンの食料を輸入しながら1,800万トンをも廃棄しています。国民1人1人が自分のできることをすることが、食料廃棄を減らし、食料問題を解決に導く第1歩です。誰もが健康で幸せな生活を送れる世界を作りましょう！



当日は、教育実習で指導してくれた、国際基督教大学4年の和田祐里子さんや、今年3月に西高国際教養科を卒業し、現在獨協大学で学んでいる丸山あゆみさんも、応援に駆けつけてくれました。また、長野西高校は、高校生に対する英語によるプレゼンテーション教育を熱心に実践し、英語プレゼンテーションコンテストに積極的に参加したということで「教育奨励賞」と副賞としてICプレーヤーをいただてきました。



フランスから高校生が留学 10/18(土)～11/8(土)

日仏高等学校ネットワーク (COLIBRI) 短期交換留学により、フランスのパリ郊外にある高校から1名の女子高校生が本校に3週間留学生として来校しました。フランスの高校で日本語を約4年学習しています。Virginie (ヴィルジニ)さんは国際教養科2年のクラスに所属し、クラスの生徒の家でホームステイしています。一方、交換留学なので、来年3月中旬から3週間は逆に、今ホームステイを受け入れている生徒がフランス留学の際に、彼女の家庭にお世話になります。また、18日(土)に羽田に到着した際には、今年3月に西高国際教養科を卒業した中村春菜さんが、コリブリOGとして出迎えに駆けつけ、日本での留学が充実したものになるように、サポートしてくれました。

Virginie (ヴィルジニ)さんより (国際教養科2年所属)

去年、二人友達は日本へ行きました。帰国したら、彼女らの旅行の話を言いました。面白いと思うから、日本へ行きたかったです。でも、私は日本へ行ったことがありますからコリブリにえらばれると思いませんでした。それから、私はうれしいです。今、高校にかよっています。日本語を勉強します。(むずかしいです。でも、おもしろいです。) Naganoに住んでいます。すごいです。例えば秋ですので、木は赤いです。すばらしいです。高校で書道や美術や弓道を見ました。楽しかったです。

Virginie 🌸